

東京都手話サークル連絡協議会

2014 年度 第 1 回代表者会議

## 総 会 議 案 書



2014 年 4 月 29 日 (祝) 13 : 00 ~ 16 : 30

於 : 東京都障害者福祉会館

東京都手話サークル連絡協議会  
2014年度 第1回代表者会議（総会）

司会：城南ブロック

<全体会>（13：00～14：50）

1. 代表あいさつ
2. 議長選出
3. 総会成立の確認（2013年度 加盟数 27 / 定足数 14）
4. 総会
  - 1) 2013年度 活動報告  
2013年度 収支決算報告採決
  - 2) 2014年度 活動（案）  
2014年度 各案採決
  - 3) 役員改選
5. 議長退任
6. その他
  - 1) 今年度会計監査 担当ブロック確認
  - 2) 公益社団法人 社員について

<ブロックに分かれての話し合い>（15：00～16：00）

<話し合いの報告・その他連絡事項>（16：20まで）

～ 全員で原状復帰 16：30 退室（時間厳守） ～

## 2014年度 総会資料 目次

1. 2013年度 活動報告	
1) 総括	2頁
2) 事務局報告	3～5頁
3) 広報班 活動報告	6頁
4) 一日研修会報告	
① ブロック企画	7頁
② 事務局企画	8頁
5) 各委員会報告	
① 東京都聴覚障害者福祉対策会議	9～10頁
② 東京聴覚障害者自立支援センター運営委員会	11頁
③ たましろの郷後援会役員会	12頁
④ 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会	13頁
6) 協力行事報告（①②③ 実行委員会・④ 当日要員）	
① 自立支援センターまつり	14～15頁
② 耳の日記念文化祭	16～17頁
③ ろう教育フォーラム	18頁
④ たましろフェスタ	19頁
7) 特別行事報告（宮城被災地バスツアー）	20頁
8) 2013年度 収支決算報告	21頁
2. 2014年度 活動（案）	
1) 活動方針（案）	22頁
2) 年間計画（案）	23～24頁
3) 2014年度 予算（案）	25頁
4) 規約確認	26～27頁
3. 役員改選	28頁

# 1. 2013 年度 活動報告

## 1) 総 括

東京都手話サークル連絡協議会  
代表 高田 直樹

平成 25 年度の東京都手話サークル連絡協議会(都サ連)は、27 サークルでスタートしました。都サ連の加盟サークル数の減少に危機感があり、広報班を中心に加盟サークルを訪問し、都サ連の存在の意義をお話しさせて頂いたり、未加盟サークルに対しては、加盟のお願いの訪問を行ってきました。また、大学の手話サークルを訪問し、情報交換をすると共に一日研修会にも来て頂くことができました。

聴覚に障害のある方々の基本的な人権を守り情報格差をなくし、福祉の向上や力強い運動を目指すためには、都内の手話サークルが結束し、運動団体としての力を結集させなければなりません。これからの都サ連が結束し、東京都聴覚障害者連盟との強力な協力関係を構築するためにも、加盟サークルの力を貸して頂きたいと思っております。是非ともよろしくお願ひします。

2011 年 3 月 11 日に起きた東北大震災かからあつという間に三年が経ちました。東京都手話サークル連絡協議会は昨年 8 月 3 日～4 日に、宮城被災地バスツアーを実施しました。

東京からは聴覚障害者と健聴者合わせて 40 人、石巻ろうあ福祉会と手話サークルからも 40 名の合計 80 人で交流をすることができました。短い時間でしたが、被災されたときの様子を手話でおはなしする迫りに圧倒された 2 時間でした。翌日は「語り部」の方の案内で、1 時間ほどバスで被災地を回りながら、お話を聞くことができました。復興の息吹を感じながらも、本当に忘れてはいけない大震災であると実感しました。

今回のツアーを企画実施し、改めて東京都手話サークル連絡協議会の存在の意味や・意義を感じた二日間でした。参加された皆様本当にありがとうございました。

昨年 12 月 4 日の参議院本会議で障害者権利条約の批准が承認されました。2006 年に国連で採択されたこの条約は 138 か国がすでに批准しています。国内法の改正に時間がかかりましたが、ようやく日本も本年 1 月 20 日 141 番目に批准しました。2011 年には 障害者基本法の改正、2013 年春には障害者差別解消法が成立するなど、法の整備については皆様のご存じの所だと思います。障害者権利条約は、人権条約です。障害者の人権は、今まで必ずしも守られていなかった面があります。批准を機に、障害をもつ人の権利や尊厳を守り、「障害に基づくあらゆる差別」のない国にしたいですね。

都サ連が活性化するために、代表者会議の中で話し合ってきました。まだまだ課題の積み残しは多いのですが、その解決に向けて話し合っていくと共に、聴覚に障害のある方々はもちろん、全ての障害者の完全参加と平等を目指し一層の努力をしたいと考えております。

都サ連としましては、私たちの進むべき方向性を再確認し、地域で活動する手話サークルが結束することで、活動の門扉を広げることができると考えています。確かに一人ひとりの力は微々たるものかもしれませんが、それでも、その力を合わせれば必ず大きな運動に繋がると信じています。その運動は必ず実を結び、花を咲かすことが出来ると信じています。これからは自分の地域の問題を考えるだけでなく、東京都や全国の障害を持つ人の完全参加と平等を目指し、都内の手話サークルや関東・全国の手話サークルと力を合わせ運動の輪を広げていきたいと思っております。

## 2) 事務局報告

事務局長：河野悠子

### 1. 2013 年度 加盟サークル … 27 サークル

ブロック	サークル名	地域	ブロック	サークル名	地域
城南 (8)	手話サークル大田'90	大田区	多摩北 (3)	手話サークルむさしの(昼)	武蔵野市
	大田区手話サークル	〃		手話サークルむさしの(夜)	〃
	港区手話サークル 麦の会	港区		立川手話こぶしの会	立川市
	手話サークル「て」	〃			
	品川手話サークル	品川区			
	めぐろ手話の会	目黒区			
	手話サークル たんぽぽ	世田谷区			
	渋谷手話の会	渋谷区			
城北 (10)	手話サークル江東	江東区	多摩南 (6)	八王子手話サークル 桑の実会	八王子市
	手話サークル葛飾	葛飾区		八王子手話サークル 「山吹会」	八王子市
	北区手話サークル	北区		府中市手話サークル かんたん	府中市
	板橋手話サークル	板橋区		手話サークル「てとて」	府中市
	手話サークル 練馬こぶし会	練馬区		手話サークル まちだ	町田市
	だるま会	中野区		多摩市手話サークル 「クローバー」	多摩市
	手話サークル 杉の会	杉並区			
	文京手話会	文京区			
	新宿区手話サークル	新宿区			
	手話サークル「すみだ」	墨田区			

### 2. 2013 年度役員

代表	高田 直樹 (たかだ なおき)	手話サークル まちだ
事務局長	河野 悠子 (かわの ゆうこ)	板橋手話サークル
会計	剣持 敦子 (けんもち あつこ)	だるま会

### 3. 会議等開催実績

#### (1) 代表者会議

回	月	日	曜	内 容	開 催 会 場	参加数
1	4	28	日	定期総会	都立大塚ろう学校 体育館	出席 23・委任 3
2	6	30	日	例 会	都立多摩社会教育会館	21 サークル
3	8	18	日	例 会	世田谷区 下北沢らぷらす	22 サークル
4	10	20	日	例 会	北区 赤羽会館	20 サークル
5	12	8	日	例 会	府中市 西府文化センター	17 サークル
6	2	16	日	例 会	立川市 高松学習館	17 サークル

※会議等の詳細は「各回の代表者会議 記録」をご参照ください。

(2) 事務局会議

回	月	日	曜	開催会場	出席数	備考
1	4	4	木	世田谷区 下北沢らぷらす	5	
2	4	14	日	板橋区障がい者福祉センター	2	議案書印刷・発送
3	5	2	木	世田谷区 下北沢らぷらす	5	
4	6	6	木	世田谷区 下北沢らぷらす	5	
5	7	4	木	世田谷区 下北沢らぷらす	3	
6	8	1	木	世田谷区 下北沢らぷらす	5	
7	9	5	木	世田谷区 下北沢らぷらす	4	
8	10	3	木	世田谷区 下北沢らぷらす	4	
9	11	7	木	世田谷区 下北沢らぷらす	4	
10	12	5	木	世田谷区 下北沢らぷらす	2	
11	1	9	木	世田谷区 下北沢らぷらす	3	
12	2	5	水	世田谷区 下北沢らぷらす	4	
13	3	6	木	世田谷区 下北沢らぷらす	5	

※会議の詳細は「各回の事務局会議 記録」をご参照ください。

(3) 一日研修会

回	月	日	曜	担当	開催会場	来場者数
1	9	22	日	多摩北ブロック	女性総合センター	184名＋8名
2	1	19	日	事務局	都立 大塚ろう学校	117名＋12名

4. 2013年度の主な活動

(1) 代表者会議の開催（年6回：開催日は3-(1)参照）

<今年度の主な課題>

- ① 「サークルでの学習について」（継続）
- ② 都サ連としての活動
- ③ 運動団体としての都サ連

<課題に対する活動>

- ① 昨年から引き続き、模擬例会・模擬イベント（ハロウィン）の紹介をお願いした。  
イベントについては、事前準備～事後処理までの流れを事務局でまとめ冊子を作成した。また、知識学習については、模擬資料による学習（15分程度）を提案した。
- ② 宮城被災地バスツアーを実施。現地手話サークル・聴障者との交流を行った。  
視察資料（頂いた写真・映像記録・音声記録等）は、事務局で保管する。
- ③ 福祉対策会議（≡参政権保障委員会）より依頼があり、コミュニケーションボードの設置状況の調査を行った。（6月都議選・7月参議院選・2月都知事選）  
都サ連の組織（27サークル 会員約3000名）が活かされた。

(2) 事務局会議の開催（開催日は3-(2)参照）

<今年度の主な課題>

①役員・各委員・各担当者の事務局会議への関わり方を再確認する。

<課題に対するの対処>

①事務局会議への出欠連絡・会議報告の事前提出をお願いしてきたが、なかなか徹底されなかった。来年度は、開催通知 → 出欠連絡 → 前回会議報告及び議題の提出等が一連の流れとなるようにシステム化を試みる。

(3) 一日研修会の開催（年2回：詳細は一日研修会報告を参照）

①第1回（9/22日）… 多摩北ブロック担当

午前「手話で日本を面白くしよう！」

講師：くまぷう&涼子氏

午後「盛り上げよう、都サ連！」

講師：石川 芳郎氏

②第2回（1/19日）… 事務局企画

午前「私の生い立ち、俳優・声優活動～コードの立場から」

講師：佐田 明氏

午後「ユニバーサルデザインを考える」

講師：岸本 義弘氏

(4) 会報「都サ連通信」発行（年6回）

<主な掲載記事>

各委員会報告・広報班活動報告・一日研修会報告・行事協力報告・行事参加報告 等

<課題>

会報の形態・掲載記事の内容・活用方法等について疑問が出され、意見交換・情報交換を行った。

(5) 以下の会議に構成団体として参加（詳細は各委員会報告参照）

① 東京都聴覚障害者福祉対策会議

② 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会

③ 自立支援センター運営委員会

④ たましろの郷後援会役員会

(6) 以下の行事に実行委員または要員として参加協力（詳細は各協力行事報告参照）

① 第15回 自立支援センターまつり（7/15月・祝）

全要員数 134名

② たましろフェスタ2013 in 渋谷（10/27日）

一般参加

③ 第18回 ろう教育フォーラム in 東京（2/1日）

実行委員 2名

③ 第43回 耳の日記念文化祭（3/1土・2日）

2日間延べ 107名

(7) 単年度会計へ向けての努力

引き続き、事務局長宅のFAXを年経費2,000円にて借用した。

来年度は、① 一日研修会の内容を充実させ、幅広く参加を呼び掛け、黒字を目指す。

② 加盟サークル数が30サークルを超えるよう協力して働きかける。

### 3) 広報班 活動報告

広報班：山崎 晋（手話サークル練馬こぶし会）  
大木知也（八王子手話サークル山吹会）

昨年3月の「早稲田大学手話さあくる」の訪問に続き、5月の「明治大学手話サークル La main」「東京理科大学手話サークル SSL」訪問を皮切りに、広報班のサークル行脚は再開されました。6月には「慶應義塾大学手話サークルMiMi」7月には再度早稲田大学、11月には昭島市手話サークルF.C（未加盟）、世田谷たんぼぼ、12月には「中野だるま会」と「杉の会」、年明けの2月には「日本大学手話サークル PEACE」に参加させて頂きました。

都サ連の一日研修会では「手話サークルひろば(国分寺)」、国学院大学 Sign、武蔵野大学 HLC、法政大学わかがし、北里大学手話部が招待に応じて下さり、その後の訪問につながりました。訪問の様子については都サ連通信を御覧下さい。最近では訪問先でも「都サ連の方が」から「あの都サ連の方が」と反応も変わって来ています。つまり行事などでブルーの腕章を着けた皆さんの活躍に、私たちの訪問も後押しされているのですね。とは言え、新たな加盟申し込みには結びついてはいません。今後は過去にお邪魔したサークルの再訪も含めて粘り強く草の根運動を続けて行く必要があるのではと考えています。それと一昨年からの学生サークルとのネットワーク作りが少しずつですが広がりを見せて来ています。

「東京都内の手話サークルは立場の如何を問わず全て仲間」と言う高田代表の方針の下に、広報班はPR活動を進めます。そのための新しい広報班員、都サ連ホームページの担当者も併せて募集中です。サークルの皆さんの応援、御協力を改めてお願い致します。

ここに過去の訪問サークル名を整理しておきます。

八掌の会（昭島市） 鷹の会（三鷹） 小金井手話サークル 福生手話サークル  
国立ハンズメイト 品川手話サークル 港区手話サークル麦の会 北区手話サークル  
多摩市手話サークル「クローバー」 日野手話サークル 大田区手話サークル  
文京手話会 東京福祉大学手話サークル 手話サークルむさしの（夜）  
豊島区手話サークル手響 あきる野市虹サークル 手話サークル「すみだ」  
新宿区手話サークル 渋谷手話の会 法政大学手話サークルわたがし  
早稲田大学手話さあくる 明治大学手話サークル La main  
東京理科大学手話サークル SSL 慶應義塾大学手話サークルMiMi  
手話サークルたんぼぼ 昭島市手話サークルF.C 中野だるま会 手話サークル杉の会  
日本大学手話サークル PEACE （以上 29 サークル）

文責：山崎



## 4) 一日研修会報告

### ① ブロック企画 (多摩北ブロック)

多摩北ブロック一日研修会実行委員

#### 【実施報告】

実施日：2013年9月22日(日) 10:00～15:30

会場：立川市女性総合センター 1階ホール

来場者：192名(参加者184名・招待サークル8名)

#### 【収支報告】

収入 … 184,000円(内訳：参加費1,000×184=234,000)

支出 … 117,255円(内訳：謝礼60,000、交通費6,200、要員手当26,000、諸経費25,055)

残金 … 66,745円(50,000円は本部会計へ、16,745円はたましろの郷へ寄付)

今年度は立川市女性総合センター「アイム」で、都サ連一日研修会が開催されました。午前は「どんなにダメな理由がたくさんあったとしても、諦めずに頑張っていけば、必ず逆境は克服できる」との思いで活動をなさっている「くまふう&涼子」氏。午後は、最近都サ連に元気がないとの声もあったので、都サ連設立当時のお話が聞けたらと、初代代表石川芳郎氏にお願いしました。

準備当初、どれくらいの方が参加してくださるのか心配していましたが、190名以上の方に参加して頂き、会場は一杯、要員の席を確保するのも大変なほどでした。心配されていたお天気も何とか持ち直し、無事終了する事ができました。

参加して下さった皆様、お手伝いして下さった皆様、ありがとうございます。

#### 午前の部(10:00～12:00)

『手話で日本を面白くしよう』というテーマで、講師に「くまふう&涼子」氏をお迎えしてのライブとトークショー。くまふうさんの、ご病気とは思えない声量のある歌、涼子さんの写真に対する強く、優しいお気持ち、写真の上手な撮り方等お話いただきました。そしてお二人の息のあったコント?!等、楽しいイベントとなりました。

#### 午後の部(13:30～15:30)

都サ連 初代代表の石川芳郎氏による「盛り上げよう、都サ連」。パワーポイントを使ってのお話でしたが、都サ連の歴史だけでなく、聞こえない方々との関り、手話通訳のあり方等も、軽快なリズムでお話し頂け、勉強になりました。後半は質疑応答があり会場も盛り上がりました。

## ② 事務局企画

実行委員：山崎 晋（広報班）

去る1月19日（日）都立大塚ろう学校体育館で、恒例の事務局企画の研修会が開かれました。午前中は「みんなの手話」や「ろう難聴を生きる」で有名な佐田明氏の講演でした。コーダとしての生き立ちを、ご家族のビデオや写真と共に語って下さいました。小さい時から進路も自分で決めなければならず、精神的に自立が早かったそうです。新潟にご健在のご両親の様子も含めてもっと観たいもっと聞きたいと言う声が上がっていました。

昼休みをはさみ、午後は元東京学芸大学教授の岸本義弘氏の講演です。「ユニバーサルデザイン」について、専門的なお話を実際の商品を見せながら分かり易く説明して下さいました。バリアフリーという言葉は前提として社会のバリアを容認してしまっている。これからは障害者、高齢者と分別するのではなく、全ての人に使いやすいユニバーサルデザインの時代なのだと教えて下さいました。

東通研、たましろ、全日ろう連の販売ブースも好評で有意義な研修会となりました。手話通訳の方々、要員の皆さんお疲れ様でした。来年も手話関係に限定せずに幅広く魅力的なゲストをお招きして、盛大に開催出来たら良いと考えています。

是非、皆さんの中であの方を呼んで欲しいと言うようなご要望があれば事務局員に声を掛けて下さいね。

～\*～

実行委員：河野悠子（事務局長）

### 【実施報告】

実施日：2013年1月19日（日）10：00～16：00

会 場：都立大塚ろう学校 体育館

来場者：129名（参加者117名・招待サークル12名）

構 成：2部

<第1部>（10：00～12：00）

講演会：「私の生き立ち、俳優・声優活動～コーダの立場から」

講 師：佐田 明氏（新潟出身、俳優、声優、司会者、ナレーター、手話通訳士）

<第2部 >（13：30～15：30）

講演会：「ユニバーサルデザインを考える」

講 師：岸本 義弘氏（元東京学芸大教授。朝日広告賞、毎日広告デザイン賞他 受賞）

### 【収支報告】

収入 … 117,000円

（内訳：参加費1,000×117＝117,000）

支出 … 126,169円

（内訳：謝礼99,000・昼食代等16,552・諸経費10,617）

残金 … △9,169円（前回一日研修会残金50,000円の1部で補填）

## 5) 各委員会報告

### ① 東京都聴覚障害者福祉対策会議

委員：高田直樹（手話サークル まちだ）  
林 紀子（手話サークル 杉の会）

福祉対策会議は、原則毎月第一月曜日に開催され、全国の動向を捉えつつ、東京における聴覚障害者福祉向上を目指し議論を行っています。東京都手話サークル連絡協議会（以下、都サ連）は構成団体のひとつであり、記録も担当しています。記録は、全国要約筆記問題研究会東京支部と東京都要約筆記サークル連絡会との三団体で交代して行なっており、都サ連が担当の時は、加盟サークルにお願いしてきました。今年度もご協力いただき、ありがとうございました。なお、会議への参加委員は、高田代表と林です。

2006年、国連総会で「障害者の権利条約」が採択され、2007年に日本が署名して以降、国内法制度整備の一環として、2011年「改正障害者基本法」の交付・施行、2012年「障害者総合支援法」の成立、2013年6月には「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障害者差別解消法」）が制定されました。ついに、2014年1月「障害者の権利条約」が批准されました。2013年半ばからは、次の一步を目指す運動が広がり、手話言語条例や意見書が地方会議で次々と採択され、東京でも取り組みが始動しています。

しかしながら、現在の日本は、参政権、裁判を受ける権利、教育を受ける権利など、日本国憲法で保障されている権利の行使に必要な、情報アクセスやコミュニケーションの権利を保障する法制度は全く整備されていません。このため、情報を得難い人たちは自己選択や自己決定ができず、社会参加が阻まれている状況にあります。

福祉対策会議は、引き続き「情報・コミュニケーション法（仮称）」・「手話言語法（仮称）」の制定に向けての取り組みを進めていきます。

#### 話し合いの主な内容

- ① 障害者総合支援法に対する取り組みについて
- ② 意思疎通支援事業への取り組みについて
- ③ 「手話言語法（仮称）」制定へ向けての取り組み
- ④ 東京都への要望と東京都福祉局との福祉懇談会について
- ⑤ 新しい都の防災計画への対応について
- ⑥ 参政権保障委員会の取り組みについて
- ⑦ 情報アクセスビィティフォーラムについて
- ⑧ 情報提供施設への取り組みについて
- ⑨ 民間の派遣団体が行なう手話通訳派遣について
- ⑩ 「We love コミュニケーション」「手話でGo!」パンフレットの取り組みについて
- ⑪ テーマパーク等のバリアフリーについて

文責：林

《2013年度 主な会議日程》

- 4月1日 第79回 福祉対策会議  
5月 休 み  
6月3日 第80回 福祉対策会議（記録：都サ連）  
7月1日 第81回 福祉対策会議  
7月29日 第31回 聴覚障害者施策推進地域担当者会議（以下、地域担当者会議）  
8月 休 み  
9月2日 第82回 福祉対策会議（記録：都サ連）  
10月7日 第83回 福祉対策会議  
11月11日 第84回 福祉対策会議  
12月2日 第85回 福祉対策会議  
12月16日 第32回 地域担当者会議（記録：都サ連）  
1月 休 み  
2月3日 第86回 福祉対策会議  
3月3日 第87回 福祉対策会議（記録：都サ連）  
3月20日 第33回 地域担当者会議

《記録担当者》

- 6月3日 勝野美佳子（板橋手話サークル）・河野悠子（都サ連事務局）  
9月2日 河野悠子（都サ連事務局）  
12月16日 剣持敦子（だるま会）・河野悠子（都サ連事務局）  
3月3日 河野悠子（都サ連事務局）

【構成団体】

社団法人 東京都聴覚障害者連盟

（※ 11/28 より 公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟）

認定NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会

認定NPO法人 東京盲ろう者友の会

東京都手話通訳問題研究会

東京都登録要約筆記者の会

全国要約筆記問題研究会東京支部

東京都手話サークル連絡協議会

東京都要約筆記サークル連絡会

## ② 東京聴覚障害者自立支援センター運営委員会

運営委員：杉石めぐみ（練馬こぶし会）

自立支援センターは、聴覚障害者の問題、手話・文字通訳等の普及啓発事業として上級手話講習会、素晴らしい手話の世界(手話講座)、特別講演等を企画・実施しています。また、就労支援・生活支援などの相談支援事業や、隔月で第二土曜日の夜 18～21 時には「ふれあいサロン」を開いています。

運営委員会は原則第二土曜日 10～12 時自立支援センター多目的室にて開かれます。  
2013 年度 運営委員会の開催日は以下の 9 回でした。

4 月 13 日(土)、5 月 11 日(土)、6 月 8 日(土)、7 月 13 日(土)、9 月 14 日(土)、  
11 月 16 日(土)、12 月 14 日(土)、1 月 11 日(土)、3 月 8 日(土)

8 月は夏休み、10 月はスポーツ祭東京 2013（第 68 回国民体育大会＋第 13 回全国障害者スポーツ大会）のため、2 月は大雪のため中止になりました。

運営委員は総務部(財務含む)・自立支援事業部・独自事業部・広報部にわかれて担当します。私は総務部に属し、総務部会議と月 1 回の拡大合同委員会で運営委員会前の打ち合わせをしました。

その他、7 月 15 日(海の日)の「第 15 回自立支援センターまつり」では、会計を担当し、式典では事業報告をしました。まつり実行委員会は、4 月 30 日(火)第 1 回、5 月 23 日(木)第 2 回、5 月 30 日(木)第 3 回、6 月 27 日(木)第 4 回、7 月 11 日(木)第 5 回の会議と 7 月 25 日(木)反省会が開催されました。

3 月 1 日(土)・2 日(日)の「耳の日記念文化祭」では、自立支援センターはバザーと模擬店(甘酒・お汁粉)を出店、1 日(土)にバザーを担当しました。

※2010 年より社団法人東京都聴覚障害者連盟の傘下でしたが、東京都聴覚障害者連盟が 2013 年 11 月公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構に移行し、自立支援センターも組み入れられました。

### 【構成団体】

社団法人 東京都聴覚障害者連盟

(※ 11/28 より 公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟)

認定 NPO 法人 東京都中途失聴・難聴者協会

東京都手話通訳問題研究会

東京都登録要約筆記者の会

東京都手話サークル連絡協議会

東京ろう重複者とあゆむ会

渋谷区聴覚障害者協会

### ③ たましろの郷後援会役員会

役員：西川 擁（手話サークルたんぽぽ）  
戸部沙織（大田区手話サークル）

今年度は都サ連から事業部に2名、後援会役員として参加しました。主にたましろフェスタの運営や、カレンダーの製作などを中心に活動しました。その他にも、皆様に「たましろの郷」「ろう重複者」のことを知っていただき、さらには都内聴覚障害者の福祉事業充実に取り組む「社会福祉法人東京聴覚障害者福祉事業協会」を全面的に支える活動資金の一環にご協力頂きたく、たましろの郷後援会では以下のような活動や行事を企画・運営しました。

- ・たましろの郷活動報告集会
- ・手話で語る戦時体験（自立支援センターとの共催）
- ・たましろの郷見学・交流バスツアー
- ・たましろフェスタ
- ・耳の日ナイトバー
- ・たましろの郷ニュースの作成・配信
- ・後援会活動や施設を知っていただくための講座
- ・球根・カレンダー販売
- ・牛乳パック募金箱

報告会では現状の問題点や課題など活発に話し合いが行われました。

ろう重複者、たましろの郷施設の啓蒙活動をし、後援会会員の増加に向けた具体的な施策が求められています。ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

文責：戸部

#### 【構成団体】

社団法人 東京都聴覚障害者連盟

（※11/28より 公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟）

認定NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会

東京ろう重複者とあゆむ会

東京都手話サークル連絡協議会

東京都手話通訳問題研究会

東京都手話通訳者協会

福保労東京手話通訳等派遣センター分会

たましろの郷世田谷委員会(世田谷)

葛飾たましろの郷後援会(葛飾)

たましろの郷板橋後援委員会(板橋)

八王子たましろの郷後援会(八王子)

たましろの郷練馬後援委員会(練馬)

日野たましろの郷後援会(日野)

## ④ 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会

委員：三村和成（めぐろ手話の会）

本委員会は毎月第3月曜日に定例会議を開催し、委員会の方向性や情報保障のあり方について話し合った。

主な活動は、選挙に関連して、各政党への働きかけを行ない、政見放送のビデオ上映会を行なった。数年前から作成を開始したコミュニケーションボードの投票所への配置も定着してきた感がある。また、例年と同じく都選挙管理委員会との意見交換会も行なった。

本年度は、参議院選挙、都議選挙が行なわれた。また、急遽、都知事辞任という動きがあり、昨年を引き続き、都知事選が行なわれた。参議院選挙、都知事選に際して、ビデオ上映会を行なった。

参議院選挙から、選挙におけるインターネットの活用が大きく認められるようになった。今までは、新聞およびテレビ・ラジオからしか選挙の情報が入らなかったが、ネットですべての候補者の情報を数多く得られるようになった。そのため、健常者と聴覚障がい者との情報格差はある程度縮まりつつあると思われる。都議選においては、インターネットを主な選挙活動の場にする候補者も出てきており、今後の選挙においては、よりネットが活用されるようになるであろう。

7月の参政権では、一票の格差が開きすぎているということで、多くの裁判で違憲判決が出されている状態である。平等な選挙のために一票の格差が開いてはならないが、情報格差も開いてはいけない。障がい者の参政権に関しては、まだまだ、多くの障害があるように思われる。今後も、情報格差のない選挙を目指して、いろいろな活動をしていきたい。

### 《2013年度 委員会の主な日程》

4月15日	参政権委員会	5月20日	参政権委員会
6月17日	参政権委員会	7月20日	政見放送ビデオ上映会
9月24日	参政権委員会	11月18日	参政権委員会
12月17日	参政権委員会	1月18日	参政権委員会
2月8日	都知事選政見放送ビデオ上映会	2月17日	参政権委員会
3月17日	東京都選挙管理委員会との懇談会		

### 【構成団体】

社団法人 東京都聴覚障害者連盟

（※ 11/28 より 公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟）

認定NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会

東京都手話サークル連絡協議会

東京都手話通訳問題研究会

全国要約筆記問題研究会・東京支部

## 6) 協力行事報告

### ① 自立支援センターまつり

実行委員：小嶋・遠藤・宮田

#### 【実施報告】

行事名：第15回 自立支援センターまつり

実施日：2013年7月15日（月・祝）

会場：東京聴覚障害者自立支援センター・リフレッシュ氷川

実績 来場者数…約450人（招待者など含めたおおよその数）

パンフレット発売数…406部

ワンコインチケット発売数…181枚

#### 【都サ連からの担当実行委員】

小嶋 直美（手話サークル練馬こぶし会）

宮田 香（品川手話サークル）

遠藤 有子（港区手話サークル麦の会）

#### 【実行委員会】

①4月30日 ②5月23日 ③5月30日 ④6月27日 ⑤7月11日 ⑥7月25日（反省会）  
計6回

#### 【主な担当内容】

- ・福引きの企画、運営
- ・スタンプラリーの企画、運営
- ・似顔絵コーナーの運営

#### 【要員】

- ・7月13日（福引準備）
- ・7月14日（福引準備・会場準備）
- ・7月15日（当日）

※今回は、実行委員会事務局にて、要員の配置を行うため、要員申込など全て各サークルから直接事務局へ行ったため、人数の把握はできなかった。

#### 【反省と次年度への引継ぎなど】

<要員募集について>

★今回、要員全体を事務局で割り振ったため、バザーや案内等にも割り振られ、いろいろな場所で、いろいろな方々と交流ができ、要員の方々から好評だった。

★緊急連絡など、事務局が全て対応することになり、連絡に時間がかかったので、次年度は改善する必要がある。



<スタンプラリー>

★今回、各場所の担当を2名から1名に変更したが、特に問題はなかったので、次回も1名で行うこととする。

<福引き>

★高田代表をはじめ各サークルの皆様のご協力により、今回は特に多くの景品が集まりました。感謝いたします。

★残った景品の保管方法などについて、無駄にしないよう次年度は実行委員会で検討したい。

<似顔絵>

★定着してきたようで、お客様が途絶えることなくいらしていただけた。

★手話によりお客様と要員がコミュニケーションをとりながら、楽しく対応できた。

<その他>

★当日の要員より、前日、前々日の景品ラッピングや会場設営、荷物運搬など準備に要員がもっと必要だった。次回は、準備の要員を増やしたいと思うので、ご協力をお願いします。

以上

## ② 耳の日記念文化祭

おもいやり もって てと手 なかまと しゅわろう！

実行委員：安部・鳥山・河野

第43回耳の日記念文化祭は、2014年3月1日（土）～2日（日）の2日間、開催されました。バザー・書籍販売・模擬店・軽食など、販売を伴うものは「都立障害者福社会館」、福祉機器・団体活動紹介等の展示は「港勤労福社会館」、式典・講演会は「港区立男女平等参画センター（リーブラ）」と、企画別に3つの会場を使用しました。

メインテーマの「お・も・て・な・し」や記念講演は、「オリンピック・パラリンピック2020年東京開催決定！」という大きなニュースを上手く取り入れた、タイムリーな企画でした。講演会は、昨年の教訓を踏まえて、前売り券の方を優先しましたが、それでも、第1会場（ホール）・第2会場（プロジェクター投影）ともに超満員だったそうです。

相談コーナーには、「薬の相談」と盲ろう者からの要望で「見えにくさの相談」が、新設されました。病院通いの高齢者が増え、どこの病院も、ゆっくり相談だけに時間を取ってもらえない状況が起こっていますので、今後、ますますニーズが高まる企画だと思います。今年は浸透していないためか、来場者は少なかったと報告がありましたが、継続することで活用して頂けるようになるのではないかと思います。

今年は2日間とも、あいにくの雨模様でしたが、延べ3,000人近い方が来場されました。

都サ連からは前日準備も含め、3日間で延べ107名の方に要員として協力を頂きました。今回は、11月まで公益社団法人認可 記念祝賀会の準備に追われたこと、耳の日実行委員のメインメンバーが新しくなったことなどで、実行委員会の立ち上げが遅れ、準備不足・説明不足で、皆さまに大変ご迷惑やご不快な思いを与えてしまい申し訳ありませんでした。皆さまからの貴重な反省やご意見は、都サ連事務局でまとめ「都サ連からの反省・意見」として提出いたしました。実行委員メンバーだけでなく、東聴連役員へも配付されることになっています。

来年度の準備は、耳の日実行委員の長・副・事務局レベルで5月頃から少しずつ始めることになり、都サ連事務局も5月の段階からお手伝いに加わらせて頂くことになりました。まず、当日までの仕事のリスト（どんな仕事があるかを書きだす）とタイムスケジュール（いつから何を準備するか）の整理・作成を提案しました。

都サ連が事務局レベルで実行委員会に関わり始めて、まだ2年目ですので、各責任者の仕事の整理・要員説明会での資料（掲載が必要な事項等）をまとめる時には、長年要員として関わって頂いている方々にアドバイスをお願いしたいと思います。その節は、よろしくお願いたします。実行委員会事務局と都サ連事務局が協力して、執行部が代わっても、進行に混乱が生じないように、今までの紙ベースの資料を整理し、今の状況に合わせながらデータ化しようと話し合いました。今回よりは、改善されることを期待して下さい。

そして、次回の耳の日にも、今回に懲りず、是非沢山の方々の応募をよろしくお願いたします。

文責：河野

- ★実行委員： 安部 葉子（品川手話サークル）  
鳥山 晶子（手話サークル大田’90）  
河野 悠子（都サ連事務局長）
- ★要員(延べ数) 198名（前日準備協力者も含む）  
都サ連 107名 東通研(通訳除く)21名 他 10名 ろう・難聴者 60名
- ★来場者数 2日間 延べ 2,991人
- ★実行委員会 ①2013年11月7日 ②2013年11月21日  
③2013年12月12日 ④2014年1月9日  
⑤2013年1月23日 ⑥2014年2月6日  
⑦2014年2月20日 ⑧2014年3月24日（実行委員反省会）
- ★拡大実行委員会 ①2013年12月12日 ②2014年1月23日
- ★要員説明会 2014年2月22日
- ★全体反省会 2014年3月2日（耳の日文化祭終了後）
- ★実行委員会の構成団体  
公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟  
東京都手話通訳問題研究会  
東京都手話サークル連絡協議会
- ★拡大実行委員会の構成団体  
公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟  
東京都手話通訳問題研究会  
東京都手話サークル連絡協議会  
公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京聴覚障害者自立支援センター  
社会福祉法人 東京聴覚障害者福祉事業協会 後援会  
指定障害者支援施設 たましらの郷  
認定NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会  
認定NPO法人 東京盲ろう者友の会  
NPO法人 全国要約筆記問題研究会東京支部  
東京都要約筆記サークル連絡会  
東京ろう重複者とあゆむ会  
東京聴覚障害者支援センター

以上

### ③ ろう教育フォーラム in 東京

実行委員：高田 直樹（代表・手話サークルまちだ）  
杉石めぐみ（手話サークル練馬こぶし会）

2012年（平成24年）11月5日、東京都聴覚障害者連盟 理事長 宮本一郎氏と教育担当理事 浦城直子氏の連名で、「第26回ろう教育を考える全国討論集会 in 東京」（2014年8月2日～3日 開催予定）の実行委員会への参加と協力をお願いの文書が、東京都手話サークル連絡協議会（都サ連）事務局に届きました。

この全国討論集会はろう教育の発展に寄与するために、毎年各県の持ち回りで開催されているもので、2014年に東京開催が決定しました。これを契機にして、都内のろう教育の発展や関係団体の発展を図りたいとの目的もあります。実行委員会の設立に先駆け、2012年12月8日に準備委員会が開催され、関係団体が集まりました。都サ連もこの準備委員会に参加し、都サ連として何のお手伝いができるのかを模索することになりました。

2013年2月の代表者会議で準備委員会に参加していることを報告し、4月の代表者会議で、実行委員会に加わり活動することの了解をもらいました。その後、実行委員の募集をし、太田雄人（手話サークルまちだ）、杉石めぐみ（練馬こぶし会）、高田直樹（手話サークルまちだ）の三人で実行委員会に参加し活動を進めることになりました。（その後、太田さんは、校務多忙のために辞退をされました。）

実行委員会のメンバーで、2013年8月16日～18日の第25回長崎集會に視察に行きました。都サ連からは杉石さんと、高田が参加しました。長崎実行委員会の話の中で、『長崎県ろうあ協会の主催行事に協力することは当然であり、長崎県手話サークル連絡協議会も全国手話通訳問題研究会長崎支部も長崎県手話通訳士協会も一丸になって協力するのは当然である。』と……。長崎集會での熱気とがんばりは、東京集會でも見習わなければならないと感じました。

2014年2月1日に、8月の全国討論集會と同じ会場で、「第18回ろう教育フォーラム in 東京」が、夏のプレ集會として開催されました。

プレ集會案内のチラシには、『従来の聴覚口話法に加え、手話の導入、人工内耳の普及、特別支援教育の影響など、ろう教育は多様化してきました。これからのろう教育のあり方を、幅広い視野から考えていきたいと思えます。』とあります。日大文理学部のキャンパスには、ろう教育に関心をお持ちの方々が集まり、実行委員やパネリストも含むと179名でした。参加者は当初の予想を遙かに上回り、会場は熱気に包まれました。とても嬉しい悲鳴でした。

8月の東京開催まで、あと4ヶ月です。これから全国討論集會要員の募集も始まります。是非ともご協力をお願いします。

文責：高田

## ④ たましろフェスタ

事務局長：河野悠子（板橋手話サークル）

### 【実施報告】

行事名：たましろフェスタ 2013 in 渋谷

実施日：2013年10月27日（日）9：30～15：00

会場：渋谷区 リフレッシュ氷川

実績：来場者 約600名

チケット売上 大人627枚（うち当日券114枚） 子供1枚

収支：収入1,025,359円 支出200,674円 残金824,685円 → たましろの郷へ

### 【プログラム】

#### 第1部 式典

越川実行委員長 あいさつ

雨宮法人理事長 新事業「学童クラブ（放課後等ディサービス）」の紹介

栗野後援会会長 フェスタの20年と施設設立の歴史

田原事務局長 後援会活動の目的と意義

#### 第2部 記念講演

「モンキー高野の海外体験記（インド旅行）」 モンキー高野氏

#### 第3部 アトラクション

なかまの発表 研修旅行の思い出

第1班 新幹線で行った名古屋城の金の鯨鯨

第2班 マザー牧場での羊の毛刈り

第3班 ディズニーランドで見たパレード

第4班 山梨でのぶどう狩り

きいろぐみ 手話パフォーマンス

渋谷手話の会 手話コーラス 東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」他

### 【要員募集】

今年度は、都サ連への要員依頼はありませんでした。

※上記は、一般参加した事務局長からの報告です。

以上

## 7) 特別行事報告 (宮城被災地バスツアー)

事務局長：河野悠子

東日本大震災で被災を受けた私達の仲間に対して、都サ連として何が出来るか模索している中で、昨年1月に被災地3県のサークル関係者の方々をお招きして貴重なお話を伺うことが出来ました。そのご縁で、今年8月に宮城県への1泊2日のバスツアーが実現いたしました。実施にあたっては、東京都聴覚障害者連盟から後援の名義を頂き、都サ連主催・東聴連協力として沢山の方に参加して頂き、現地のサークル及び聴障者との有意義な交流を果たしました。

### 【実施報告】

行事名：宮城被災地バスツアー

実施日：2013年8月3日(土)・4日(日)

参加者：東京40名(内聴障者7名)・現地約40名

### 【コース】

8月3日(土)

出発 新宿駅西口 → 現地サークルとの交流会 石巻市内 → 宿泊 南三陸ホテル観洋

8月4日(日)

語り部バス 南三陸町(周遊) → 買い物・昼食 気仙沼復興商店街 → 到着 新宿駅西口

### 【収支報告】

	項目	入金	出金	備考
1	参加費	1,040,000		@26,000円×40名
2	ツアー代金(1泊2食)		1,007,600	運転手2名・保険代含む
3	東京からのお土産		7,654	曙(不二ひとつ)85枚
4	交流会経費		2,866	菓子代
			5,000	飲み物代
6	現地担当者へのお礼		5,000	商品券
7	現地への送料		640	クロネコ便
8	残金寄付		11,030	救援宮城本部へ
9	残金振込手数料		210	
	合計	1,040,000	1,040,000	

## 8) 2013 年度 (2013. 4. 1~2014. 3. 31) 収支決算報告

### 収入の部

	予 算	決 算	備 考
分 担 金	135,000	135,000	27 サークル×5,000
雑 収 入	0	50,924	預金利息 24 円・一日研修会 (ブロック) 50,000 円 一日研修会 (事務局) 残金 0 円 情報 AF 協力券販売還付金 900 円
前年度立替金	0	3,840	郵送費 (H24 年度分 16 サークル H25 年度分 1 サークル) 参政権保障委員会会場費返金
前年度からの繰越金	156,434	152,594	
合 計	291,434	342,358	

### 支出の部

	予 算	決 算	備 考
通 信 費	15,000	7,040	総会資料・関係団体資料郵送料等
F A X 代	2,000	2,000	F A X 代
広 報 費	10,000	0	
消 耗 品 費	10,000	4,322	コピー代等
交 際 費	20,000	26,080	東聴連祝賀会・中難協大会・年賀広告
会 議 費	10,000	4,840	代表者会議・事務局会議会場費
交 通 費	100,000	95,180	会議・委員会交通費
事 業 費	10,000	9,169	一日研修会 (1 月 19 日) 補填 9,169 円
雑 費	3,000	0	
今年度立替金	0	3,500	欠席サークル資料郵送費立替 3,200 円、 参政権保障委員会会場費立替 300 円
予 備 費	111,434	0	
小 計	291,434	152,131	
繰 越 金	0	190,227	
合 計	291,434	342,358	

特別引当金	600,000	600,000	
合 計	600,000	600,000	

上記相違ない事をご報告いたします。

2014 年 4 月 12 日

会計 劔持 敦



上記相違ない事を確認いたしました。

2014 年 4 月 12 日

会計監査

峯岸 光子



2014 年 4 月 12 日

会計監査

齋藤 四朗



## 2. 2014 年度 活動（案）

### 1) 活動方針（案）

代表：高田直樹（手話サークルまちだ）

- (1) 東日本大震災と東京都手話サークル連絡協議会（都サ連）  
震災から三年が経ち、被災地は少しずつ落ち着きを取り戻し始めています。復興への道のりはまだまだ遠い状態です。引き続き支援に取り組んでいかなければなりません。都サ連として東北視察ツアー第二弾を企画し実行したいと思っています。
- (2) 地域活動と東京都手話サークル連絡協議会  
手話サークルの活動は、地域ろう協の活動と車の両輪の働きです。都サ連も東京都聴覚障害者連盟と共に運動協力を進めます。都サ連の組織化のためにも加盟サークルの増加に努力します。
- (3) 広報班の活動の充実
  - ①運動を幅広く進めるために、加盟サークルに限らず未加盟サークルへも訪問し、都サ連加盟サークルの結束と拡充をめざします。
  - ②都サ連パンフレットや腕章を活用し広報活動に活かしていきます。
  - ③ホームページを有効に活用し、情報発信や都サ連の活動を紹介します。
- (4) 都サ連としての活動  
昨年度と同様に、関係団体と協力しながら、各種運動・活動を続けていきます。都サ連として、以下の活動に積極的に参加します。（ ）内は 2013 年度 委員名
  - ①東京都聴覚障害者福祉対策会議（高田直樹、林紀子）
  - ②自立支援センター運営委員会（杉石めぐみ）
  - ③たましろの郷後援会役員会（西川擁、戸部沙織）
  - ④東京都聴覚障害者の参政権保障委員会（三村和成、高田直樹）
  - ⑤また、自立支援センターまつり、たましろフェスタ、耳の日記念文化祭などに積極的に参加協力します。
- (5) 加盟サークル間の交流と情報交換  
代表者会議の進め方を見直し、時間の使い方を工夫します。加盟サークル間の交流を重視し、情報交換及び交流の方法についても工夫していきます。
- (6) 事務局の体制  
事務局の体制を見直し、運動が継続できる体制作りを目指します。事務局員・各委員の募集のしかたを工夫し、加盟サークルのメンバーが参加しやすい事務局を目指します。
- (7) 会計  
本年度も単年度会計の健全化を目指します。



## 2) 年間計画 (案)

事務局長：河野悠子 (板橋手話サークル)

### 1. 会議等開催日程 (案)

#### (1) 代表者会議

回	月	日	曜	内 容	開 催 会 場	担当ブロック
1	4	29	祝	定期総会	東京都障害者福社会館	城南ブロック
2	6	29	日	例 会		多摩南ブロック
3	8	24	日	例 会		城北ブロック
4	10	26	日	例 会		多摩北ブロック
5	12	7	日	例 会		城南ブロック
6	2	22	日	例 会		多摩南ブロック

#### (2) 事務局会議

回	月	日	曜	開 催 会 場	備 考
1	4	3	木	世田谷区 下北沢らぷらす	
2	4	13	日	板橋区障がい者福祉センター	議案書印刷・発送
3	5	1	木	世田谷区 下北沢らぷらす	
4	6	5	木	世田谷区 下北沢らぷらす	
5	7	3	木		
6	8	7	木		
7	9	4	木		
8	10	2	木		
9	11	6	木		
10	12	4	木		
11	1	8	木		
12	2	5	木		
13	3	5	木		

#### (3) 一日研修会

回	月	日	曜	担 当	開催会場
1				城南ブロック	
2				事務局	

## 2. 協力行事&日程（予定）

月	日	曜	行事名	組織等
7	21	月・祝	第16回 自立支援センターまつり	実行委員会
8	2・3	日/月	第26回 ろう教育を考える全国討論集会	実行委員会
8	17	日	たましろフェスタ 2014 in 府中	当日要員
2/3	28/1	土/日	第44回 耳の日記念文化祭	実行委員会

## 3. 来年度の主な活動(案)

(1) 都サ連を知る・都サ連を知ってもらう。

①都サ連のPR・加盟案内

- ・広報班の未加盟サークル訪問（都サ連PRとネットワーク作り）…継続
- ・事務局の加盟サークル訪問（現状把握とサークル個別の問題を知る）…継続

②都サ連とは何か、加盟サークル間で共通認識をもつ

- ・都サ連の役員組織と担当の仕事、事務局会議・代表者会議の位置づけ 等

(2) 加盟サークル同士を知る。

①親睦をはかる

- ・顔の見える会議形態 …継続
- ・都サ連主催の忘年会等の企画 …継続

②情報交換

- ・加盟サークルの活動日一覧表の配付 …継続
- ・サークルからの疑問・質問に対する情報交換 …継続
- ・手話サークルに相応しい例会企画等についての情報交換 …継続
- ・都サ連通信、ホームページ、メールで各種行事・企画を発信・共有する …継続

(3) 話し合いで見つかった問題や実際に行った活動を整理する。

- ・出された意見の集約・整理を行い、次の検討課題につなげる。
- ・紹介してもらった模擬例会・模擬イベント等を、サークル運営の参考資料として応用できる形に都サ連でまとめ、必要なサークルに提供する。

(4) 東日本大震災を教訓として、都サ連で出来ることを考える。

①経過（2010年度～2013年度）

- ・ろう者の見た被災地：「被災地取材して」今村氏・「被災地を訪れて」江副氏
- ・都サ連から高田代表と広報山崎氏が現地視察、会員に現状報告
- ・被災地3県から講師を招いて講演・東京の防災委員を加えての話し合い
- ・宮城被災地へのバスツアーを実施（現地視察・現地サークルとの交流）

②2014年度予定（案）

- ・被災地への訪問・現地サークル・聴障者との交流の第2弾を企画する。

### 3) 2014年度(2014.4.1~2015.3.31)収支予算(案)

#### 収入の部

	2012年度決算	2013年度決算	2014年度予算	備 考
分 担 金	135,000	135,000	130,000	26サークル×5,000
雑 収 入	115,265	50,924	0	
前年度立替金	0	3,840	3,120	H25年度郵送費立替分未収金3,120円 (3,200円中80円は入金済)
繰 越 金	136,258	152,594	190,227	
合 計	386,523	342,358	323,347	

#### 支出の部

	2012年度決算	2013年度決算	2014年度予算	備 考
通 信 費	12,514	7,040	10,000	総会資料26サークル×80円 都サ連通信10団体×6回×80円
F A X 代	9,811	2,000	2,000	F A X代
広 報 費	0	0	10,000	都サ連パンフレット作成費
消 耗 品 費	1,084	4,322	10,000	封筒、コピー用紙、コピー代等
交 際 費	11,080	26,080	20,000	年賀広告(東聴連、中難協)8,000円 大会参加費(東聴連、中難協)8,000円
会 議 費	7,520	4,840	10,000	事務局会議 300円×13回 代表者会議 3,000円×2回
交 通 費	81,580	95,180	100,000	会議・委員会交通費、 その他活動交通費
事 業 費	106,500	9,169	10,000	都サ連活動・行事等の補助 (一日研修会・バスツアー等)
雑 費	0	0	3,000	
今年度立替金		3,500	0	欠席サークル資料郵送費立替等
予 備 費	0	0	148,347	
小 計	230,089	152,131	323,347	
繰 越 金	156,434	190,227	0	
合 計	386,523	342,358	323,347	

特別引当金	600,000
-------	---------

※引当金 : 将来の支出に備え準備してあるお金

## 4) 東京都手話サークル連絡協議会 規約 (2014年版)

### 第1条 名称

本会は「東京都手話サークル連絡協議会」と称する。

### 第2条 所在地

団体の所在地は事務局長宅におく。

### 第3条 目的

本会は、東京都内の手話サークルの恒常的交流と質的发展を図り、聴覚障害者集団との連帯を強めて行くことを目的とする。

### 第4条 構成

本会は、東京の手話サークルによって構成される。(但し、各区・市などの主催する講習会は別とする。手話サークル的要素を持った講習会が参加する場合は、期間を2年以内と定め、自主的に手話サークルに移行してもらう)

### 第5条 事業

本会の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 研修会を開催し諸課題を協議・解決する。
2. 講演会などの諸事業を行う。
3. その他、必要な事業を行う。

### 第6条 機関

本会の最高決議機関はサークル代表者会とし、定期的を開催する。サークル代表者会は、その構成員の過半数の出席を以て成立し、議決は出席者の過半数を必要とする。

サークル代表者は、各サークルで選出される。

サークル代表者会において、代表(1名)、事務局長(1名)、会計(1名)を選出する。任期は1年とする。

事務局長は事務局員を若干名委嘱できる。

代表は事務局員の中から、副代表(1名)を選び、指名することができる。

### 第7条 財政

本会の会計年度は、毎年4月1日から、翌年の3月31日までとする。

本会の経費は、次の収入によってこれに充てる。

1. 各サークルの分担金  
各サークルの分担金は年間5,000円とする。
2. その他

本会の口座管理は事務局長が行う。

### 第8条 規約の改正

本規約を改正する時は、サークル代表者会において、構成員の2/3以上の賛成を必要とする。

(付則)

この規約は、昭和52年(1977年)2月16日より施行する。

(改正)

1. 1990年4月29日(日)開催の第1回代表者会議において  
第7条 1. 各サークルの分担金  
分担金年間3,000円を4,000円に改正した。
2. 2003年4月27日(日)開催の第1回代表者会議において  
第7条 1. 各サークルの分担金  
分担金年間4,000円を6,000円に改正した。
3. 2008年4月27日(日)開催の第1回代表者会議において  
第6条 機関  
「代表は事務局員の中から、副代表(1名)を選び、指名することができる。」  
を追加した。
4. 2009年4月26日(日)開催の第1回代表者会議において  
第7条 1. 各サークルの分担金  
分担金年間6,000円を5,000円に改正した。
5. 2012年8月26日(日)開催の第3回代表者会議において  
会計事務手続きに伴い、第2条の表記を変更し第7条に口座管理者を追記した。

### 3. 役員改選

東京都手話サークル連絡協議会規約 第6条に則って、下記役員の改選を行う。

代 表 (1名)

事務局長 (1名)

会 計 (1名)

副代表 (1名) (必要に応じて代表が事務局員の中から指名)

事務局員 (若干名) (必要に応じて事務局長が委嘱)

昨年の事務局会議は、第1木曜日・夜間

～\*～

その他、都サ連から選出する委員・実行委員・担当者 等

#### 1. 各委員会 委員

東京都聴覚障害者福祉対策会議 委員 (第1月曜日・夜間)

自立支援センター運営委員会 運営委員 (第2土曜日・午前)

たましろの郷後援会役員会 委員 (第2月曜日・夜間)

東京都聴覚障害者の参政権保障委員会 委員 (第3月曜日・夜間)

#### 2. 各種行事 実行委員

第26回 ろう教育を考える全国討論集会 in 東京

第16回 自立支援センターまつり (※実行委員会は概ね月曜日の予定)

第44回 耳の日記念文化祭 (※事務局会議は概ね木曜日の予定)

#### 3. 当日要員

たましろフェスタ 2014 in 府中 (8月17日(日)開催予定)

#### 4. 広報班 (サークル訪問・ホームページ管理・その他の広報活動)

#### 5. 会議記録担当 (福祉対策会議・地域担当者会議・女性部総会など)